

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 香月 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

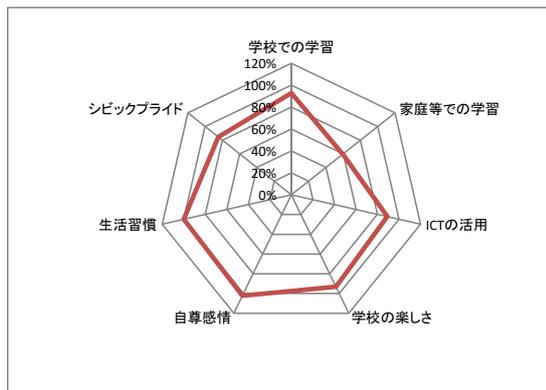
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・評価の観点別では、知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が他の項目と比較して特に低い。 ・問題形式別では、記述式の問題において無回答率が高い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・文の成分の順序や照応について理解している（知識・技能：言葉の特徴や使い方に関する事項） ・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる（思考・判断・表現：読むこと）	
	努力が必要な問題	・文脈に即して漢字を正しく書くことができる（知識・技能：言葉の特徴や使い方に関する事項） ・短歌に用いられている表現の技法について理解している（知識・技能：言葉の特徴や使い方に関する事項）	
数学	全体的な傾向や特徴など	・問題形式別では、短答式の問題において無回答率が高く、正答率も他の問題形式と比較して低い。それに伴い、評価の観点別では、知識及び技能の問題の正答率が低い。無回答率が比較的低い思考・判断・表現の問題の正答率は高い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・成り立つ事柄を、数学的な表現を用いて説明することができる（思考・判断・表現：A 数と式） ・二つのグラフにおいて、事象に即して解釈することができる（知識・技能：C 関数）	
	努力が必要な問題	・連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる（知識・技能：A 数と式） ・与えられたデータから最頻値を求めることができる（知識・技能：D データの活用）	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分には、よいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との問いに対して約85%の生徒が肯定的に回答している。 ・就寝時間・起床時間についての項目において全国平均より上回っており、規則正しい生活習慣が身につけている。 ・「学校の授業時間以外の勉強時間」「家庭学習においてICTを活用している」との問いに対して回答した割合が低かった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・朝自習や1日1枚の家庭学習プリント等の知識・技能の定着に向けた取組の継続
- ・振り返り等の書く活動や、学びあいや発表等の思考力や表現力の向上を目指した取組の充実

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・計画的な家庭学習の実現に向けて、ICTを活用した家庭学習の提案や放課後自習教室の充実を図る。
- ・ご家庭のご協力のもと、規則正しい生活習慣が身につけてきています。これまでと同様に、「早寝・早起き・朝ごはん」等の安定した生活リズムづくりをお願いします。